



北海幹線用水路

～空知平野を流れるもう一つの大河～



赤平市から南幌町（7市町）まで延長約80kmにおよぶ北海幹線用水路は、農業専用では日本で最も長い。空知平野の農地に水を供給するために造られ、北海道の穀倉を支える役割を果たしている。1924（大正13）年から4年で完成し、空知川から最大毎秒44tを取水。北海頭首工を起点に、美唄市には調整池が、砂川、美唄、岩見沢市市街地では親水公園が整備されている。